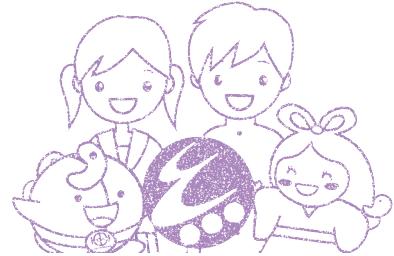


総合計画推進に 向けた行財政運営



Point

着実に計画を進めるため、健全な行財政運営に努めます

第2次総合計画で掲げる新たなまちづくりと厳しい財政状況や変化が激しい社会経済環境に的確に対応するためには、より簡素で効率的な行政の体制整備と財政基盤の強化が必要となります。

持続可能なまちづくりに向けた各種施策を推進するため、健全な行財政運営に努めるとともに、まちづくりへの理解や参画につながる効果的・効率的な事業実施に向けて、市民との情報共有や積極的な行政改革に取り組みます。

■将来も安定した財政運営を実現するために

<健全な行財政運営 本編126ページ～>

- 「長期財政見通し」に基づき、中長期的な展望に立った計画的な財政運営を行います。
- 将来的に安定した財政運営を実現するため、地方税や地方交付税の確保に努め、優良な起債、国・県補助制度の有効活用を図り、確実な財源確保に取り組みます。
- 適切で分かりやすい財政状況の公表を通じて、市民と行政が本市の財政状況について共通認識を深めます。
- 効率的な行政経営のため、市民、地域、事業者などと行政による協働の取組を基本に、役割分担や使用料などの負担区分の見直しに取り組みます。
- 公共施設の数や管理運営方法を見直すことで、将来的な財政負担の軽減を図ります。

■コスト・スピード・成果を重視した行政経営に向けて

<積極的な行政改革 本編128ページ～>

- 効果的かつ効率的な行政経営を進めるため、目的、手段、成果などを検証しながら、コスト・スピード・成果を重視した行政経営を進め、行政改革を不斷の取組として推進します。
- 多様化する市民ニーズや行政課題に対応するため、職員の適切な定員管理と組織・機構の見直しを推進します。また、職員一人一人が法令を遵守し、市民に信頼される職員を育成します。
- 地域情勢や生活基盤の変化を見据えて、医療・福祉施設などの社会基盤の維持・充実を図ります。また、災害や事故等に的確に対応した安全・安心の確保のため、近隣市町村との連携強化を進めます。

■市民の活力をまちづくりに生かします

<行政の透明化と市民参画 本編130ページ～>

- 市民への説明責任を果たし、市政の透明性を高めるため、きめの細かい、迅速かつ正確な行政情報の提供を行います。
- 情報通信技術の活用により、行政サービスの利便性向上や行政事務の効率化を図り、行政が所有する情報の民間活用を促す一方で、個人情報保護など情報の適正な管理に努めます。
- 市民の活力をまちづくりに生かすため、様々な手法により広く市民の意見を取り入れ、理解と協力を得ながら、ともに実践行動ができる環境を整えます。



市民参加のワークショップ

